

病院機能維持・向上委員会

病院機能維持・向上委員長 合志 光史

当院では、公益財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価」の受審を目指すため、平成26年5月に「病院機能評価準備委員会」を発足させ、職員一丸となってハード面・ソフト面の改善に取り組んで参りました。約7ヶ月間と考えようでは無謀に短い期間での受審となり、職員一同たいへん苦労しましたが、平成27年1月27日から2日間の受審を経て、4月3日に無事認定を頂く事ができました。平成27年度からは、「病院機能維持・向上委員会」と名称を改め、2年目の活動をしています。

当委員会の主な活動は、病院機能評価受審のために取り組んだハード面・ソフト面の改善活動を維持・向上させることです。病院機能評価の認定はゴールではなく、病院機能維持・向上のスタートであるという認識を強く持ち、比較的評価の低かった項目については、認定更新時に前回より高い評価となるよう改善策を協議する一方で、比較的評価の高かった項目についても、維持・向上が図れるよう取り組んでいます。

具体的には、承諾書（同意書）の標準化・統一化への取り組みや、薬剤科への休日・夜間の入退室管理の改善、リハビリ・臨床工学技士等の増員によるチーム医療の強化、心臓血管外科・歯科口腔外科の新設による新たな診

療・治療の導入等が挙げられます。

平成29年度は、病院機能評価3年目の現状について日本医療機能評価機能に報告することになっていますが、まだまだ課題も多く残っており、引き続き病院機能維持・向上に取り組んでいきたいと思ひます。

